

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第87回 2025年8月)



先日、とある委員会の第1回目の会合があった。初対面の人が多かったので、最初に自己紹介をすることになった。ただ名前と所属を言うだけでは面白くないので、気を利かせた進行役が、ユニークなお題を出してきた。

「自分を動物にたとえると何ですか？ そしてその理由は？」

みんな「うーん」と首をひねっていたが、食いしん防はたちどころに思いついた。それは「タヌキ(狸)」である。



一般的に、タヌキは「ずるい」というイメージがある。タヌキ親父などと陰口をたたかれる人物(たとえば徳川家康とか)は、「ずる賢い」「腹黒い」と思われているようだ。童話に出てくるタヌキの扱ひも、だいたいそんな感じだ。

しかし先の会合で自分をタヌキにたとえた理由は、ちょっと違った。その時、食いしん防は、その理由をこう言った。

「タヌキは雑食性の動物です。肉でも植物でも何でも食べる。私も好き嫌いがほとんどなく、何でも食べます。彼らはよく車に轢かれて、道路脇でお亡くなりになっています。そういうどんくさいところが似ています。またタヌキは化けると言われていますが、実際はそんなことできない。そういう見かけ倒しなところもそっくりです」

みんなワハハと笑って聞いていたが、後に親しくなった人からこう告げられた。

「言われる前から、タヌキみたいだなあって思っていました」

ちなみにその会合で、自分をライオンや狼にたとえた人は皆無だった。謙遜しているのか、それとも猫をかぶっているのか。

タヌキはひょうきんそうな風貌をしているものの、実はけっこう凶暴な性格をしているのだ。食いしん防も……そこは言わぬが花であろう。



お腹いっぱいになると無意識に腹鼓を打ってしまうところも……

TOPICS

☆役に立つ防災訓練とは

北花沢町が秋に防災訓練を企画されている。その準備会議に食いしん防はお邪魔させていただいた。

参加者が楽しんで、なおかつ災害時に役立つような訓練はどうすればいいか、という相談を受け、いくつかのプランを提示させてもらった。

屋内で講習会をするなら、実際の災害映像などを見てもらった後に、30分くらいの話を聴くのがよい。外で訓練をするなら、運動会のようにゲーム感覚で参加できるものを1つか2つするのがよい、ということ話を話した。

役員さんはみんな熱心で、自らもアイデアを出して検討を重ねていた。きっとすばらしい訓練をされると思う。

その当日には、まち協からも防災グッズを提供させてもらう予定だ。



☆防災減災のつどい

令和7年度の「防災減災のつどい」が八日市の文化芸術会館で開かれた。

八日市南高の地域活動支援部が「東北や能登半島での活動」について事例発表し、またアナウンサーとして活躍する傍ら防災士としての顔も持つ増田晶子さんが、「わたしと防災～防災と友だちになった理由」という題で講演を行った。

およそ 250 名の参加者は、多様な視点から防災について考えることの大切さや、日ごろからの備えの重要性について学んでいた。



今後の活動予定

9月27日 防災リーダー養成講座（第4回）：人と防災未来センター視察研修
秋ごろ こと防の活動（内容は考え中！）

※ 出前講座の申し込み受け付けます！

勝手にQ&Aコーナー

Q：防災訓練で、楽しさと実効性は両立するのでしょうか？ 楽しい訓練はあまり役に立たない気がするのですが……

A：遊び感覚で参加できる内容にすると、実際の知識として身につかないんじゃないかと心配なのはよくわかる。もともと防災意識の高い人が対象の場合は、できるだけリアルな訓練が良いだろう。しかし初心者が相手であれば、**まず参加し体験してもらう**、あるいは見てもらうことが重要になる。それにどんなリアルな訓練でも、1回体験しただけでは忘れてしまう。楽しさを重視した訓練でも、**繰り返し体験すれば、必要な知識が身につきます。**



Q：我が滋賀県民にとって、タヌキといえば信楽焼きです。タヌキを自称するくらいなら、当然のごとく家にはどーんと鎮座しているのでしょうかね？

A：フフッ、そう来たか。心配ご無用。食いしん防の自宅玄関前には、名前入りのとっくりを掲げた特注のタヌキ様が座っておられますよ。信楽には美味しいうどん屋さんがあって、その「海老と揚げ餅入りのぶっかけうどん」は絶品です！



楽しい質問、お待ちしております！

（文責：こじまっちょ）

